



# 希望の哲学を世界へ



## 欧州 Europe

- フランス「ヴァール・ユメヌ」
- イギリス「アート・オブ・リビング」
- ドイツ「エクスプレス」
- イタリア「イル・ヌオヴォ・リナシメント」
- スペイン「シビルサシオン・グローバル」
- デンマーク「ソウカ・ルネサンス」
- スウェーデン「リフスクラフト」
- オランダ「インディゴ」

## 韓国 Korea

- 「和光新聞」

## 南アジア South Asia

- インド「バリュー・クリエーション」
- タイ「スー・クワーム・スック」
- マレーシア「コスミック」
- シンガポール「クリエーティブ・ライフ」
- インドネシア「ソウカ・スピリット」
- カンボジア「アルンレア・ナウ・カンブチア」

## 東アジア East Asia

- 香港「黎明聖報」
- 台湾「創価新聞」
- フィリピン「バガサ」

## アフリカ Africa

- ガーナ「バリュー・クリエーター」
- コートジボワール「ル・セルモン・デュ・ボヌール」
- トーゴ「ラ・グレーヌ・ドゥ・レヴェユ」
- カメルーン「レゾナンス」
- 南アフリカ「ライフ・トゥ・ライフ」

## オセアニア Oceania

- オーストラリア「インディゴ」
- ニュージーランド「タイ・アロヌイ・ブディズム・イン・フォーカス」

インド創価学会の機関誌「バリュー・クリエーション(価値創造)」は、1992年に創刊された月刊誌です。2017年、青年部10万人の陣列の達成に併し、機軸を一新、100ページのオールカラーとなりました。現在は、電子版に加え、8ページ建てのタロイド紙や未来部の機関紙も制作しています。



バドママリニラ 編集長

### インド

が目覚ましいのでしょうか。それは日蓮仏法が「生まれた哲学」だからです。近年、インド社会の発展は著しく、家族、教育、仕事などの価値観が変容しています。抱雑な悩みを抱える若年層は、現実の壁に挑む限りない知恵を日蓮仏法に見いだしているのです。最近、機関誌で紹介する体験の内

### 「心の財」輝く体験が人々を魅了

容にも変化があり、SDGs(持続可能な開発目標)に関わる貢献などが大きなテーマとなっている。人間の幸福は、地位や財産で決まるものではない。はつらつと生きていく、「人のため、社会のために尽くしていこう」という学会員の「心の財」の輝きが、多くの人々を引きつけているのではないだろうか。私は2000年に信を始め、学会の機関誌を読む中で、池田先生を「師匠」だと心から思えるようになりました。インドでも、多くの地域でメンバー有志が機関誌の配達を担当しています。同志の手元に届く機関誌は、「先生のホームピット(家庭訪問)」と同じ意義があると思っています。これからも、戸田先生と池田先生が抱かれた「世界の聖教」の夢を仏法発祥の国インドで実現していきます。



バリュー・クリエーション



### カメルーン

#### レゾナンス

月刊誌で、「レゾナンス」は「共鳴」の意を持つ。英語とフランス語が公用語のため、両言語で内容を掲載。座談会での研さん教材や「青年のページ」など、充実のラインアップで日々の活動をサポートする。



### イタリア

#### イル・ヌオヴォ・リナシメント

1982年の創刊。誌名はイタリア語で「新ルネサンス」を意味し、月1回発行している。本年より同誌は、毎週デジタル配信を行い、青年部や未来部のページも充実させている。また主要記事は音声配信も行っている。



### オーストラリア

#### インディゴ

タイトルの「インディゴ(靑藍)」は「從藍而靑」の原理を示した御書の一節に由来している。1989年に発行された機関紙がリニューアルを重ねて、現在のオールカラー40ページの月刊誌へと発展した。



### 台湾

#### 創価新聞

週2回刊、オールカラー12ページ建て。1986年に「和楽新聞」として創刊され、2014年に「創価新聞」へと発展した。SGIのニュースや信仰体験のほか、生活・文化・教育などに関する多彩な内容で読者を引きつけている。



### 韓国

#### 和光新聞

1991年の創刊から、本年で30周年を迎える。週刊16ページ建て。週刊紙としては国内屈指の発行部数を誇り、仏法の人間主義の哲理を韓国社会に大きく広げている。昨年、新設された青年部向けのコンテンツも充実している。

確実にやるのはどこでもできる。  
確実に速くやるからこそ「価値」になる。